

## 目標達成計画

作成日 : 令和3年10月10日

評価結果

市町提出日 : 令和3年10月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	防災訓練は年6回以上、定期的に行っているがコロナ禍以前からの従来通りの訓練方法を継続していた。現在コロナ禍という事で避難方法や防災備蓄の見直しを行い、いざという時に慌てず混乱せず動ける体制を整える事が今後の課題である。	年6回以上の防災訓練は今後も継続して行い、その他にも不定期でレクリエーションの要素を含んだ形で突発的な訓練を行う。	日々のレクリエーションの一つとして、災害時にはどのような行動を取ればよいか皆で話し合う機会を持ったり、普段散歩や外気浴の為に外に出る機会を避難経路の確認等も併せた声掛けを行う。	12 か月
			日頃から防災グッズや防災備蓄に触れ、馴染みの物として定着する事で実際に災害が起こって使用した際の不安軽減を図る。	防空頭巾を試しに作ってみる。食事やおやつの際に試しに紙皿や割りばし等、災害時を想定した形での提供をする。	12 か月
			コロナ禍という事でマスクや消毒等の備蓄を見直し、災害時に発熱があった際にどのような対応・物品が必要かを検討し、いざという時の為に備える。	コロナ禍を意識した防災グッズの備蓄を補充する。職員全員が改めて備蓄の種類や量、場所を確認する。	12 か月
2					か月
3					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。